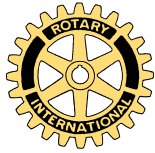


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2585回例会プログラム

[当年度=27回目；当月=2週目]

2008年（平成20年）3月10日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……我等の生業
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. スペシャルオリンピックス日本・愛知へ
協力金贈呈
……スペシャルオリンピックス日本・愛知
会長 さかもと せいし 坂本 精志 様
10. ライラセミナー修了証授与
おおた たつひこ ……太田 達彦 君
11. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
12. 幹事報告
13. 出席報告
14. 委員会報告
15. ニコニコボックス報告
16. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/17)……卓話「2回目のライラに参加して」
講師 ライラセミナー受講生
しまづ なりひさ 嶋津 就久 君
(紹介者 加藤 真治 会員)
※健康診断（職業奉仕委員会）
(3/25)……高浜 RC との合同例会
12:30～衣浦グランドホテル
※3月24日(月)の例会変更分です。
- 13:10 17. 本日のプログラム
創立記念例会

「創立55周年に向けて」

塚本 幸夫 会長エレクト

18. 謝辞
19. 点鐘……〈会長〉
20. 閉会宣言

13:30 21. 散会

ビジター

坂本 精志 会員 (名古屋名東 RC)

ゲスト

スペシャルオリンピックス日本・愛知
会長 坂本 精志 様
事務局長 岡本 寛子 様
ライラセミナー受講生 太田 達彦 君



出席

会員総数 95名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 9名 出席率 89.53%
前々回(2/25)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 去る3月5日に開催されました、西三河インターシティミーティングにはたくさんの方々にご参加頂き、賑々しいIMとなり、改めて感謝申し上げます。
- 2) 本日は創立記念例会ですので、お食事の内容を僅かながら豪華にさせていただきました。塚本エレクトのお話は13時10分からの予定としておりますので、ごゆっくり味わって頂ければ幸いです。

幹事報告

- 1) 3月5日のIMで、ホストの知立RCから提案があり、余剰金が見込まれるので、登録者1人当たり1,000円をロータリー財団に寄付する事が決議・実行されましたのでご報告致します。ちなみに9 RC全体で558,000円、刈谷RCからは95,000円を寄付致しました。

会長あいさつ

橋本 恭典



去る3月5日に開催されました、西三河インターシティミーティングには、大勢の方々にご参加頂きまして、ありがとうございました。

「各クラブの会長さんがしっかり取り組んでくれたので、うまくできた」とは知立クラブ橋本実行委員長のお言葉で、褒められて無邪気に喜んだのは刈谷の橋本です。

さて本日は、1954年3月8日に創立された刈谷クラブが54歳になりました、その記念例会ですので、次年度創立55周年に向けて、まだ構想とか方針がまとまっていないと言われる塚本エレクトに、少しご無理を申し上げ卓話をお願いしました。特に地区との関係においては、この辺りの時期から始めないと次年度地区補助金獲得などには乗り遅れてしまうという、私の反省に立ってのことです。

今年度は、地区補助金を申請しようと9月に地区へ問い合わせたところ、既に申請が一杯とのことで時期を失してしまいました。刈谷クラブは過去数年間、連続して地区の補助金を有効利用させて頂きましたが、本年度はございません。

これまで、地区補助金を利用しているクラブが、昨年度は13クラブと割と多かったのですが、それ以前は片手の指で間に合う位しかなく、当該年度になってから申

請しても時間的余裕はあったのですが、前年度あたりから、各クラブで補助金利用の啓蒙活動が活発化して、5月末くらいには、次年度の地区補助事業の申請をされているのがこの地区での現状となりました。

7月の新年度になってからクラブ内の理事会に諮って事業を決定しては、間に合わずに断念せざるを得なかった事情があるからです。ルール上の締め切り日はその年度12月末日ですが、7月からすぐに補助金該当事業が決定していきますので、申請書類の提出は4-5月が良いとのことでした。

昨年秋に地区ロータリー財団深谷委員長さんに卓話をさせて頂きましたが、復習のつもりでお聞きください。

ロータリー財団プログラムの中に人道的補助金プログラムが4つございます。その中で特に利用しやすいものは地区補助金と、マッチング・グラントです。地区補助金はこの地区ではなじみのあるものになってきました。刈谷クラブの年次寄付は毎年1人100ドルのスローガンに対し155.21ドルと高水準をキープしております。シェア・システムと言いまして、年次寄付の50%が地区財団活動資金で、寄付してから3年後に地区で利用できるようになっており、今年度は51,000ドルであります。

マッチング・グラントにつきましては、耳慣れない言葉ですが、例えば、刈谷クラブで行ってきたWCS、ダバオの緑化プロジェクトに当てはめると、ダバオクラブの拠出金を明確にすれば、拠出した金額と同額の補助金が国際ロータリーから下りてくるということでした。ダバオでの事例で申し上げれば、例えば刈谷が98万円、ダバオで2万円を拠出した上、書類審査が通れば、国際財団活用資金から100万円下りてくるシステムなのです。ダバオでのプロジェクトで例えましたが、他国への援助でなく刈谷市内で実行することも可能です。

マッチング・グラントはロータリー財団最大のプログラムです。日本は国際親善奨学金を最重要視していますが、世界全体から見ますと国際親善奨学金の1,480万ドルに対しマッチング・グラントには3,310万ドル費やしています。

私が次年度の事を申し上げる立場にはありませんが、マッチング・グラントにチャレンジ願えれば幸いです。と思っている次第です。今日は自分でできなかったことを人に押し付ける挨拶でした。

お祝い

金婚式のお祝い



岡本 琢磨 会員

古稀のお祝い



小林 祥浩 会員



霜出 俱弘 会員

3月の会員の誕生日…小林祥浩、霜出俱弘、大竹憲治、水越彌生、加藤俊二、加藤真治、野村紀代彦、角谷広高会員。

配偶者の誕生日…竹内香子（一正）、鬼頭キミ子（勝彦）、御友敬子（重孝）、鈴木祥子（光彦）、酒部満子（正博）、久米直美（博明）、渡邊淳子（敏男）、井元啓子（良彦）、高橋恵子（徹治）、毛受清美（豊）様。

3月度結婚記念日…内藤耕造、岡本琢磨、野村重彦、中村美智雄、三ツ松芳隆、加藤恒治、橋本恭典、野村勝実、今村順、磯村達男、伊藤禎康会員。

3月度入会記念日…坂 茂、原田光二、岡本琢磨、岡本巧、出口達也、杉山拓史会員。

卓 話

「創立55周年に向けて」

塚本 幸夫 会長エレクト



今日は54周年の記念日に、55周年に向けてという事でお話させて頂くことに感謝申し上げます。

先ほど、橋本会長がマッチング・グラントについて話されましたが、これは二つの国のロータリークラブが協力して、国際的・人道的プロジェクトを実施するというものです。

これには、委員会を設置したり、必要に応じプロジェクト設置現場を訪れなければならない等の規定があり、これらを加味しながら、昨年暮れ頃から検討して頂いております。しかし3月31日締切のため、高野会員、加藤

俊二会員にいろいろ協力頂いて計画書を作っていきたいと考えております。

そして、できれば大型ジェット機を借り切って（笑）人道的プロジェクトのために現地へ行きたい、55周年の思い出にしたいと思っております。

次に、次年度に向けてということでお話しします。先週、ガバナー事務所から資料が送られて来ました。その資料の最初に「クラブ・リーダーシップ・プランを実践してどんな効果がありましたか」という設問がありました。今まさにRIを含めて、組織変えをなさいというキャンペーンをしております。

毎年、各委員長あてに、「クラブ会員増強、退会防止委員会」「クラブ広報委員会」「ロータリー財団委員会」「クラブ幹事運営委員会」「クラブ奉仕プロジェクト委員会」の5つの手引きが来ます。

しかし刈谷ロータリークラブは、会員基盤の維持・増加ができており、長期的に見て成果ある奉仕プロジェクトを実践できる、これらの内容をすべて満たしている、ということで、私の年度は現状のままの委員会構成とさせて頂きたいと考えております。私の後任の岡本巧君は、アイデアマンで素晴らしい経営者でもありますので、彼にその次をお任せしたいと思っております。

あと、ポリオについてですが、常在国としてアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン、インドの4カ国でたくさんのポリオ患者が発生しております。さらには、無発生国として認定されていたアンゴラ、コンゴ、ミャンマー、ニジェール、ソマリアでもポリオが発生したということで、完全に撲滅するのは非常に難しいと感じております。資金が大変不足しているとの報告を頂いており、これに協力していくべきだと考えております。

最後に、あるパストガバナーの方の著作から紹介申し上げて終わりにさせていただきます。

『人生には、ただ一つの義務しかない。それは愛することを学ぶ事だ。人生はただ一つの幸せしかない。それは愛する事を知る事だ。』

いま、ここ、自分、その合計が自分の一生。人は他人から助けられる立場にいる限り、決して満足はしません。老人であろうと、子どもであろうと、他の人に何かをした時に、初めて人は満ち足りることができるのです。

人間にとって最高の荣誉ある喜び、それは自分が他の人のお役に立つ事ができる、自分の存在が他の人の喜びにつながるということを知る事であります。

人生にはただ一つの義務しかない。それは愛を捧げる事です。差し出す事です』

そんな思いを持ち続けたいと考えております。どうもご静聴ありがとうございました。